

2 評価指標

- 「千葉県保健医療計画」(平成23年4月策定、平成25年5月一部改定。以下、この項において「本冊」といいます。)における評価指標については、次ページ以降のとおりとします。
- 参考に、改定前の評価指標が記載されている箇所を「(本冊〇〇ページ)」のように示しています。

基盤・過程・結果を用いた評価

評価に用いる指標を単に羅列するだけでは、どの段階にどのような問題があるのかを十分に分析することはできません。多面的な観点から分類・整理された指標を用いることで、はじめて包括的な評価が可能と考えられます。このような考え方から指標を基盤(ストラクチャー)・過程(プロセス)・結果(アウトカム)に分類しています。

① 基盤(ストラクチャー)

医療提供サービスを行うための枠組みを形づくる要因であり、人員配置、機器・設備の状況、組織体制など、主に医療資源を指します。代表的なものは地域の医師数や病床数などであり、その地域の医療の充実度について検討する際などによく用いられます。

② 過程(プロセス)

医療活動の一連の流れから見た質の側面(どのように診療や看護などのサービスが提供されたか)であり、ガイドラインに基づいた治療などを指します。又、運動する者の割合や喫煙率など人々の健康の質やその保持に直接結びつく動向も過程に該当すると考えられます。

③ 結果(アウトカム)

医療や保健サービスの提供の結果、何が得られたのかということであり、具体的には治療成績や死亡率などを指します。医療資源などの基盤(ストラクチャー)の整備に加え、医療の質の向上や県民の健康に対する意識の高まりなど、過程(プロセス)が望ましい方向へ変化していくことが、最終的に結果(アウトカム)の改善へ収束・反映されていくと考えられます。

第1章 質の高い保健医療提供体制の構築
 第1節 循環型地域医療連携システムの構築
 2 循環型地域医療連携システム（各論）

(1) がん（本冊 66、67 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
緩和ケア病床の数	11 病院 235 床 (H26 年度)	増加 (H29 年度)
県の施設の禁煙実施率	99.4% (H26 年度)	100% (H34 年度)
市町村の施設の禁煙実施率	92.8% (H26 年度)	100% (H34 年度)
医療施設の禁煙実施率	88.5% (H22 年度)	100% (H34 年度)
口腔ケアの地域医療連携を行っている「がん診療連携拠点病院」	6 病院 (H26 年 2 月)	増加 (H29 年度)

※敷地内禁煙又は建物内禁煙を実施する施設の割合

〔過程（プロセス）〕

指 標 名	現 状	目 標
喫煙する者の割合（男性） （女性）	23.7% 7.8% (H25 年度)	20% 5% (H34 年度)
がん検診受診率 ・胃がん検診（40～69 歳） ・肺がん検診（40～69 歳） ・大腸がん検診（40～69 歳） ・乳がん検診（40～69 歳） ・子宮がん検診（20～69 歳）	40.9% 45.2% 40.0% 48.6% 43.7% (H25 年)	50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 50%以上 (H29 年度)
精度管理・事業評価及び有効性が証明されたがん検診の実施	全市町村において 実施 (H26 年度)	全市町村において 実施 (H29 年度)
「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療連携協力病院」における地域医療連携パス（がん）の利用件数	2,293 件 (H22 年 4 月～H27 年 8 月累計件数)	増加 (H29 年度)

「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療連携協力病院」における化学療法を行っている延べ患者数	15,608 人 (H26年4月～7月 延べ患者数)	増加 (H29年度)
「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療連携協力病院」における放射線治療を行っている延べ患者数	7,428 人 (H25年の年間延 べ患者数)	増加 (H29年度)

〔結果 (アウトカム)〕

指 標 名	現 状	目 標
住まいの場（自宅、老人ホーム等）での死亡割合（悪性新生物）	14.8% (H26年)	経年ごとに上回る こと (H29年度)
がんによる 75 歳未満年齢調整死亡率（人口 10 万対）（男性） （女性）	93.9 60.6 (H26年)	一層の減少 51.7 (H29年)

(2) 脳卒中（本冊 75、76 ページ）

〔基盤 (ストラクチャー)〕

指 標 名	現 状	目 標
24 時間、治療（開頭手術、脳血管内手術等）に対応している病院	7 医療圏 (H22年6月)	9 医療圏 (H29年度)
SCU（脳卒中集中治療管理室）を有する病院の数	4 医療圏 (H26年10月)	9 医療圏 (H29年度)
回復期リハビリテーション病棟の病床数（人口 10 万対）	54 床 (H27年度)	57 床 (H29年度)
地域包括ケア病棟の病床数（人口 10 万対）	6 床 (H27年度)	13 床 (H29年度)
在宅療養支援診療所数	344 箇所 (H27年9月)	372 箇所 (H29年度)
機能強化型訪問看護ステーション数	14 箇所 (H27年12月)	18 箇所 (H29年度)

[過程 (プロセス)]

指 標 名	現 状	目 標
成人の喫煙率 (男性) (女性)	23.7% 7.8% (H25 年度)	20% 5% (H34 年度)
成人 1 日当たりの食塩摂取量 (男性) (女性)	11.8g 10.3g (H22 年度)	9.0g 7.5g (H34 年度)
運動習慣のある者の割合 (40～64 歳) (男性) (40～64 歳) (女性) (65 歳以上) (男性) (65 歳以上) (女性)	19.3% 18.1% 31.3% 26.8% (H24 年度)	28.0% 27.0% 38.0% 33.0% (H34 年)
特定健康診査・特定保健指導の 実施率 (健康診査) (保健指導)	35.7% 20.4% (H24 年度)	70% 45% (H29 年度)
脳卒中の診療を行う病院における 地域医療連携パス導入率	35% (H22 年 6 月) ※千葉県共用地域医 療連携パスのみの 実績	80% (H29 年度) ※千葉県共用地域医 療連携パス以外の パスも含む
退院患者平均在院日数 (脳血管疾 患)	79.1 日 (H26 年度)	期間短縮を図る (H29 年度)

(3) 急性心筋梗塞 (本冊 80～82 ページ)

[基盤 (ストラクチャー)]

指 標 名	現 状	目 標
急性心筋梗塞 (開胸、経皮的冠動 脈形成術) が 24 時間可能な病院を 有する二次保健医療圏	7 医療圏 (H22 年 6 月)	9 医療圏 (H29 年度)
CABG (冠動脈バイパス手術) の実施 が可能な病院を有する二次保健医 療圏数	8 医療圏 (H22 年 6 月)	9 医療圏 (H29 年度)

心大血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)または(Ⅱ)の届出施設を有する二次保健医療圏数	9 医療圏 (H27 年 4 月)	9 医療圏 (H29 年度)
--	----------------------	-------------------

[過程 (プロセス)]

指 標 名	現 状	目 標
成人の喫煙率 (男性) (女性)	23.7% 7.8% (H25 年度)	20% 5% (H34 年度)
適正体重を維持している者の増加 (肥満BMI 25 以上、やせBMI 18.5 未満の減少) (20～60 歳代男性の肥満者割合) (40～60 歳代女性の肥満者割合) (20 歳代女性のやせの者の割合)	33.2% 22.1% 19.0% (H22 年)	28.0% 19.0% 15.0% (H34 年)
運動習慣のある者の割合 (40～64 歳) (男性) (40～64 歳) (女性) (65 歳以上) (男性) (65 歳以上) (女性)	19.3% 18.1% 31.3% 26.8% (H24 年度)	28.0% 27.0% 38.0% 33.0% (H34 年)
特定健康診査・特定保健指導の実施率 (健康診査) (保健指導)	35.7% 20.4% (H24 年度)	70% 45% (H29 年度)
急性心筋梗塞の診療を行う病院における地域医療連携パス導入率	11% (H22 年 6 月) ※千葉県共用地域医療連携パスのみの実績	50% (H29 年度) ※千葉県共用地域医療連携パス以外のパスも含む
退院患者平均在院日数 (虚血性心疾患)	5.7 日 (H26 年度)	期間短縮を図る (H29 年度)

(4) 糖尿病 (本冊 86、87 ページ)

〔基盤 (ストラクチャー)〕

指 標 名	現 状	目 標
糖尿病専門外来を有する病院の数	94 箇所 (H22 年 6 月)	129 箇所 (H29 年度)

〔過程 (プロセス)〕

指 標 名	現 状	目 標
運動習慣のある者の割合 (40～64 歳) (男性)	19.3%	28.0%
(40～64 歳) (女性)	18.1%	27.0%
(65 歳以上) (男性)	31.3%	38.0%
(65 歳以上) (女性)	26.8%	33.0%
	(H24 年度)	(H34 年)
日常生活における歩数 (男性)	7,360 歩	8,800 歩
(女性)	6,203 歩	7,700 歩
	(H22 年度)	(H34 年)
適正体重を維持している者の増加 (肥満 BMI 25 以上、やせ BMI 18.5 未満の減少)		
(20～60 歳代男性の肥満者割合)	33.2%	28.0%
(40～60 歳代女性の肥満者割合)	22.1%	19.0%
(20 歳代女性のやせの者の割合)	19.0%	15.0
	(H22 年)	(H34 年)
特定健康診査・特定保健指導の 実施率 (健康診査)	35.7%	70%
(保健指導)	20.4%	45%
	(H24 年度)	(H29 年度)
糖尿病の診療を行う病院における 地域医療連携パス (糖尿病) 導入 率	4% (H22 年 6 月) ※千葉県共用地域医 療連携パスのみの 実績	50% (H29 年度) ※千葉県共用地域医 療連携パス以外の パスも含む

〔結果 (アウトカム)〕

指 標 名	現 状	目 標
合併症 (糖尿病腎症による年間新 規透析導入患者数) の減少	777 人 (H24 年度)	738 人 (H34 年)

(5) 精神疾患

ア 精神疾患（認知症を除く）（本冊 101、102 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
精神科救急基幹病院数※	6 圏域（9 病院） （H26 年度）	9 圏域（11 病院） （H29 年度）
精神科救急身体合併症に対応できる施設数	4 圏域（4 病院） （26 年度）	9 圏域（9 病院） （H29 年度）
救命救急センターで「精神科」を有する施設数	11 箇所 （H27 年度）	11 箇所 （H29 年度）

※精神科救急入院料算定認可医療施設数として、精神科医療センターを含む

〔過程（プロセス）〕

指 標 名	現 状	目 標
精神保健福祉センターにおける訪問指導の延人員	6 人 （H26 年度）	188 人 （H29 年度）
地域移行・定着協力病院数	-	26 病院 （H29 年度）
精神障害者ホームヘルパー養成数	1,841 人 （H26 年度）	2,020 人 （H29 年度）
精神科病院（単科精神科病院）が実施している精神科訪問看護を受けている患者数	人口 10 万対 17 人 （H25 年度）	人口 10 万対 22 人 （H29 年度）
精神科診療所が実施している精神科訪問看護を受けている患者数	人口 10 万対 1.2 人 （H25 年度）	人口 10 万対 5.1 人 （H29 年度）
遠隔地退院支援者数の実数	10 人 （H26 年）	23 人 （H29 年度）

〔結果（アウトカム）〕

指 標 名	現 状	目 標
1 年入院者の平均退院率	87.7% （H25 年度）	91% （H29 年度）
退院患者平均在院日数	334 日 （H25 年）	290 日 （H29 年）
在院期間 5 年以上、かつ 65 歳以上退院者数（1 月あたり）	26 人 （H25 年度）	49 人 （H29 年度）
精神科病院の長期在院者（1 年以上在院者）の数	7,857 人 （H26 年 6 月）	6,442 人 （H29 年度）

自殺死亡率（人口 10 万対）	19.5 人 (H26 年)	17.6 (H29 年)
-----------------	-------------------	-----------------

イ 認知症（本冊 113 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
認知症サポーター数	233,604 人（累計） (H27. 7. 30 現在)	310,000 人（累計） (H29 年度)
認知症サポート医の養成人数 ※千葉県を除く	207 人（累計） (H27. 9. 30 現在)	264 人（累計） (H29 年度)
かかりつけ医認知症対応力向上研修 修了者数 ※千葉県を除く	772 人（累計） (H26 年度)	1,072 人（累計） (H29 年度)
認知症疾患医療センターの指定箇 所数 ※千葉県を除く	9 箇所（累計） (H28. 1. 18 現在)	地域の状況に応じ 二次保健医療圏に 1 か所以上の設置 (H29 年度)
認知症介護実践研修受講者数	3,223 人（累計） (H26 年度)	4,243 人（累計） (H29 年度)

〔過程（プロセス）〕

指 標 名	現 状	目 標
認知症疾患医療センターの専門医 療相談件数	5,211 件 (H26 年度)	7,700 件 (H29 年度)
「千葉県オレンジ連携シート」の 使用枚数	440 枚 (H26 年度)	900 枚以上 (H29 年度)

〔結果（アウトカム）〕

指 標 名	現 状	目 標
退院患者平均在院日数（認知症）	299.1 日 (H20 年)	期間短縮を図る (H29 年度)

（6）救急医療（病院前救護を含む）（本冊 121 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
救命救急センター設置数	11 箇所（8 医療圏） (H26 年度)	13 箇所（9 医療圏） (H29 年度)
ドクターカーを配備している救命 救急センター数	7 箇所 (H26 年度)	9 箇所 (H29 年度)

医療施設従事医師数（救急科）（人口 10 万対）	2.5 人 (H26 年)	2.6 人 (H28 年)
ドクターヘリの出動回数	1,642 回 (H26 年度)	1,700 回 (H29 年度)

〔過程（プロセス）〕

指 標 名	現 状	目 標
救急隊覚知からの医療機関収容時間の平均	44.5 分 (H26 年)	30.0 分 (H29 年)
重症患者の救命救急センターへの搬送率	90.3% (H21 年)	95.0% (H29 年)

〔結果（アウトカム）〕

指 標 名	現 状	目 標
心肺停止状態で見つかった者（心原性、目撃者あり）の 1 ヶ月後の生存率	14.3% (H26 年)	20.0% (H29 年)

（7）災害時における医療（本冊 132 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
災害拠点病院設置数	21 箇所（9 医療圏） (H27 年度)	各医療圏に 2 箇所以上 (H29 年度)
災害派遣医療チーム（DMAT） ・指定医療機関数	21 箇所（9 医療圏） (H27 年度)	23 箇所（9 医療圏） (H29 年度)
災害派遣医療チーム（DMAT） ・チームの数 ・構成員の数	28 チーム 211 名 (H26 年度)	45 チーム 225 名 (H29 年度)

（8）周産期医療（本冊 139、140 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
分娩実施施設数（15－49 歳女子人口 10 万対）	7.8 (H26 年度)	増加 (H29 年度)

NICU(新生児集中管理治療室)を有する周産期母子医療センター及び連携病院の数	12 箇所 (7 医療圏) (H27 年度)	14 箇所 (8 医療圏) (H29 年度)
NICU の整備数	129 床 (H27 年度)	141 床 (H29 年度)
全県 (複数圏域) 対応型周産期医療連携拠点病院 (総合周産期母子医療センター等) の数	3 箇所 (H27 年度)	4 箇所 (H29 年度)
周産期母子医療センター及び連携病院と救命救急センターの併設数	10 箇所 (6 医療圏) (H27 年度)	11 箇所 (7 医療圏) (H29 年度)
医療施設従事医師数 (産科医・産婦人科) (人口 10 万対)	6.8 人 (H26 年)	7.0 人 (H28 年)
就業助産師数 (出生千対)	29 人 (H26 年)	31 人 (H28 年)

〔過程 (プロセス)〕

指 標 名	現 状	目 標
分娩数に対する病院間搬送件数の割合 (分娩数千対)	21.3 (H26 年度)	12.8 (H29 年度)
産後訪問指導を受けた割合	38.4 (H25 年度)	42.0% (H29 年度)
全出生中の低体重児の割合	9.1 (H26 年)	減少 (H29 年)

〔結果 (アウトカム)〕

指 標 名	現 状	目 標
妊産婦死亡率 (出生 10 万対)	4.2 (H26 年)	減少 (H29 年)
新生児死亡率	1.1 (H26 年)	減少 (H29 年)
周産期死亡率 ・ 後期死産率	3.4 (H26 年)	減少 (H29 年)
周産期死亡率 ・ 早期新生児死亡率	0.9 (H26 年)	減少 (H29 年)

(9) 小児医療（小児救急医療を含む）（本冊 147 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
医療施設従事医師数（小児科）（人口 10 万対）	10.3 (H26 年)	10.5 人 (H28 年)
一般病院（精神病院を除く）に占める小児科を標榜する一般病院の割合	44.5% (H25 年度)	46.0% (H29 年度)
小児電話相談件数	18,537 件 (H26 年度)	30,000 件 (H29 年度)

〔結果（アウトカム）〕

指 標 名	現 状	目 標
乳児死亡率	2.28 (H25 年)	減少 (H29 年)
乳幼児（5 歳未満）死亡率	0.52 (H25 年)	減少 (H29 年)
小児（15 歳未満）死亡率	0.23 (H25 年)	減少 (H29 年)

第 2 節 地域医療の機能分化と連携

1 医療機能の充実（本冊 153 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
「かかりつけ医」の定着度	55.6% (H27 年度)	60% (H29 年度)
「かかりつけ歯科医」の定着度	62.8% (H27 年度)	65% (H29 年度)

3 地域医療連携の推進（本冊 160 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
地域医療支援病院数	12 箇所（8 医療圏） (H27 年度)	各医療圏に概ね 1 箇所 (H29 年度)

6 医薬分業体制の充実（本冊 172 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
医薬分業率	73.1% (H26 年度)	77% (H29 年度)

第3節 在宅医療の推進（本冊 177、178 ページ）

〔基盤（ストラクチャー）〕

指 標 名	現 状	目 標
在宅患者訪問診療実施診療所数※	491 箇所 (H26 年 9 月)	970 箇所 (H29 年度)
在宅患者訪問診療（居宅）実施歯科診療所数※	342 箇所 (H26 年 10 月)	450 箇所 (H29 年度)
在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局数	1,626 箇所 (H27 年 12 月)	1,740 箇所 (H29 年度)
機能強化型訪問看護ステーション数	14 箇所 (H27 年 12 月)	18 箇所 (H29 年度)

※各種在宅医療サービスのうち「訪問診療」を実施している（歯科）診療所数

〔過程（プロセス）〕

指 標 名	現 状	目 標
訪問看護ステーションと医療機関看護師の相互研修実施数	年 2 回 (H26 年度)	年 2 回以上実施 (H29 年度)
入院中の患者に対して退院時共同指導を実施している病院数	37 箇所 (H24 年 9 月時点)	増加 (H29 年度)
在宅患者が緊急時に入院できる体制を提供している病院数	96 箇所 (H24 年 9 月時点)	増加 (H29 年度)

〔結果（アウトカム）〕

指 標 名	現 状	目 標
在宅死亡率	20.0% (H26 年)	経年ごとに上回ること (H29 年)

第4節 各種疾病対策等の推進

1 結核対策（本冊 183 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
結核罹患率（人口 10 万対）	14.1 (H26 年)	平成 28 年度策定予 定の千葉県結核対策 プランで定める目標
接触者検診受診率	92.7% (H26 年度)	100% (H29 年度)
結核病床保有病院（モデル病床を 含む）を有する二次保健医療圏	7 医療圏 (H26 年度)	9 医療圏 (H29 年度)

2 エイズ対策（本冊 187 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
いきなりエイズ率	36.8% (H26 年度)	31.5% (H29 年度)

3 感染症対策（本冊 191 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
感染症外来協力医療機関の施設整 備数	12 箇所 (H26 年度)	18 箇所 (H29 年度)
定期予防接種率 ・ A 類疾病 ・ B 類疾病	90.4% 44.1% (H26 年度)	95%以上 50%以上 (H29 年度)

4 肝炎対策（本冊 194 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
肝炎ウイルス検査件数（B 型・C 型）	7,018 件 (H26 年度)	10,000 件 (H29 年度)

7 歯科保健医療対策（本冊 204 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
むし歯のない 3 歳児の割合	81.7% (H26 年度)	85%以上 (H29 年度)
12 歳児の平均むし歯本数	0.91 本 (H26 年度)	0.6 本以下 (H29 年度)

80歳で20歯以上自分の歯を有する者の割合	28.5% (H25年度)	35%以上 (H29年度)
進行した歯周炎に罹っている者の割合・40歳(40～49歳) ・50歳(50～59歳)	41.5% 47.7% (H26年度)	20%以下 30%以下 (H29年度)
3歳児の県平均と最も高い市町村のむし歯有病者率の差を縮小	45.1% (H26年度)	15%以内 (H29年度)
12歳児の県平均と最も高い市町村の1人平均むし歯数の差を縮小	1.7本 (H26年度)	1.0本以内 (H29年度)

8 リハビリテーション対策 (本冊 209 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
高次脳機能障害支援普及事業	3箇所 (H26年度)	4箇所 (H29年度)

第2章 総合的な健康づくりの推進 (本冊 214 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
健康寿命の延伸 (日常生活に制限のない期間の平均の延伸) (男性) (女性)	71.62歳 73.53年 (H22年)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加 (H34年)
健康格差の縮小 (日常生活に制限のない期間の平均の市町村格差の縮小) (男性) (女性)	2.83歳 2.90歳 (H23年)	市町村格差の縮小 (H34年)

第3章 保健・医療・福祉の連携確保

第1節 母子・高齢者・障害者分野における施策の推進

1 母子保健医療福祉対策 (本冊 217 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
1歳6ヶ月児健診未受診者の状況把握	76.8% (H26年度)	100% (H29年度)
3歳児健診未受診者の状況把握	79.1% (H26年度)	100% (H29年度)

要保護児童対策地域協議会設置市町村数	53 市町村 (H26 年度)	全市町村 (H29 年度)
--------------------	--------------------	------------------

2 高齢者保健医療福祉対策（本冊 223 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
福祉ふれあいプラザ（介護実習センター）利用者数	31,307 人 (H26 年度)	35,000 人 (H29 年度)
地域包括支援センター職員等に係る研修の実施	新任者研修・現任者研修 年各 2 回 (H27 年度)	新任者研修・現任者研修 年各 2 回 (H29 年度)

3 障害者保健医療福祉対策（本冊 227 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
障害児等療育支援の実施箇所数	65 箇所 (H26 年度)	65 箇所 (H29 年度)

第 2 節 人材の養成確保

1 医師（本冊 230、231 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
初期臨床研修修了者の県内定着率	54.9% (H27 年 3 月修了者)	80.0% (H29 年 3 月修了者)
医療施設従事医師数（産科・産婦人科）（人口 10 万対）	6.8 人 (H26 年)	7.0 人 (H28 年)
医療施設従事医師数（小児科）（人口 10 万対）	10.3 人 (H26 年)	10.5 人 (H28 年)

3 薬剤師（本冊 235 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
医療施設従事薬剤師数（人口 10 万対）	165.0 (H26 年度)	全国平均と同水準 (H29 年度)

4 看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）（本冊 238 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
看護師等養成所卒業生の県内就業率	67.7% (H27 年 3 月卒業生)	70.5% (H29 年 3 月卒業生)

看護職員の離職率	12.8% (H25年度)	低下を目指す (H29年度)
----------	------------------	-------------------

5 栄養士（本冊 242 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
行政栄養士未配置市町村数	なし (H26年度)	なし (H29年度)

第3節 連携拠点の整備

3 衛生研究所（本冊 252 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
地域保健技術職員等に対する研修指導回数	96回/年 (H26年度)	120回/年 (H29年度)

第4章 安全と生活を守る環境づくり

第1節 健康危機管理体制（本冊 254 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
健康危機対策研修修了者数	1,172人（累計） (H26年度)	2,000人（累計） (H29年度)

第2節 医療安全対策等の推進

1 医療安全対策（本冊 257 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
院内感染ネットワークの活用の向上（相談件数）	相談件数年間 48 件 (H26年度)	相談件数年間 60 件 (H29年度)

3 医薬品等の安全確保（本冊 263 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
薬事監視実施率	102.7%（累計） (H23～H 26年度)	140%（累計） (H23～H29年度)

4 薬物乱用防止対策（本冊 257 ページ）

指 標 名	現 状	目 標
街頭啓発活動実施回数	143 回 (H26年度)	150 回 (H29年度)

危険ドラッグ試買検査実施回数	123 検体 (H26 年度)	200 検体 (H29 年度)
麻薬取扱施設立入検査実施回数	828 施設 (H26 年度)	1,500 施設 (H29 年度)

5 血液確保対策 (本冊 271 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
献血計画における目標達成率	93.1% (H26 年度)	100% (H29 年度)

6 毒物劇物安全対策 (本冊 272 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
毒物劇物監視実施率	40.4% (H26 年度)	全国平均と同水準 (H29 年度)

第3節 快適な生活環境づくり

1 食品の安全確保 (本冊 275 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
食中毒罹患率 (10 万対罹患率)	10.9 (H26 年度)	10.0 (H29 年度)
食品検査件数	3,586 件 (H26 年度)	3,600 件 (H29 年度)

2 飲料水の安全確保 (本冊 278 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
水道施設立入検査実施率	47.5% (H26 年度)	増加 (H29 年度)

3 生活衛生の充実 (本冊 280 ページ)

指 標 名	現 状	目 標
特定建築物、旅館、公衆浴場、プールの立入指導率	80% (H26 年度)	95% (H29 年度)